

川崎涼子 論文内容の要旨

主 論 文

Reactions of community members regarding community health workers' activities
as a measure of the impact of a training program in Amazonas, Brazil

ブラジル国アマゾナス州におけるコミュニティヘルスワーカーの活動に関する
住民の認識と満足度- ブラッシュアップ研修の評価

川崎涼子、定森徹、秋吉恵、西原三佳、吉村俊朗、大西真由美

Journal of Rural Medicine • Vol. 10, No. 1 (May, 2015)

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻
(主任指導教員： 沖田 実 教授)

緒 言

コミュニティヘルスワーカー (CHW) はプライマリヘルスケアの推進を担うことを目的に、住民と保健医療サービスとの懸け橋となる人材として育成、配置されている。一方で、医療従事者としての教育を受けていない CHW に住民が注射投与を期待することや、十分な研修やスーパービジョンを受ける機会の欠如によって生じる CHW の不適切な保健サービス供給といった好ましくない影響についても考慮する必要がある。

ブラジルにおける CHW プログラムは、統一保健システムの下、ブラジル全土で展開されており、CHW は少なくとも月 1 回、担当する地域の家庭を訪問し、傷病者や妊産婦の有無の確認、必要に応じて医療機関への紹介・搬送、健康教育等を実施することが求められている。

本研究の目的は、医療資源の乏しいアマゾン川流域で実施された CHW ブラッシュアップ研修の効果について、CHW 活動への住民の認識と満足度から評価することである。

対象と方法

1. 対象地域

アマゾナス州マニコレ市は、北海道の半分ほどの面積を有し、人口 51,311 名 (2013 年) のうち約 15,000 名が市街地に、その他はアマゾン川沿いに点在する 225 のコミュニティに居住している。

2. CHW ブラッシュアップ研修

2004 年から 2006 年にかけて行われた地域保健強化プロジェクトの一環として、

マニコレ市で活動する CHW を対象とした、小児保健や応急処置等に関するブラッシュアップ研修が月 1 回程度実施された。

3. 評価方法

本研究では、質的評価と量的評価を組み合わせた **Mixed method** を用いた。

1) 質的評価

CHW ブラッシュアップ研修のプロセス評価として、(i)マニコレ市の政策的動員、(ii)コミュニティの参加・協力度、(iii) CHW 活動認知の増加度、(iv) CHW ブラッシュアップ研修のマネジメント能力、(v)マニコレ市、州立病院、ヘルスセンターのパートナーシップ構築の 5 つの観点から、その妥当性、実行可能性、継続性を評価した。

2) 量的評価

ベースライン時 (2004 年) および最終評価時 (2006 年) に、CHW 活動に対する住民の認識および満足度を調査した。市街地と遠隔コミュニティからそれぞれ無作為に地区および世帯を抽出し、調査員が対象世帯を訪問し、世帯主または主婦に対し、構成的面接調査を実施した。ベースライン調査では、市街地 50 世帯、遠隔地 100 世帯、最終評価調査では、市街地 100 世帯、遠隔地 100 世帯を対象とした。

ベースライン時と最終評価時の比較にはカイ二乗検定またはフィッシャーの正確確率検定を用いた。また、市街地と遠隔地コミュニティに分けたベースライン時と最終評価時の比較では、**Mantel-Haenszel** 検定を行った。

結 果

質的評価では、地域住民のみならず、マニコレ市長及び福祉部長といった行政職員、病院やヘルスセンターの保健医療従事者からも CHW 活動に対する肯定的反応が示された。公的立場からの CHW 活動に対する支援や協力がみられ、また CHW も自身の役割や活動に自信をもてるようになったことが確認された。

量的評価では、ベースライン調査時 151 家族 (1 世帯中 2 家族の生計を別にする家族が含まれた)、最終評価時 198 家族から調査への回答が得られた。CHW 活動に対する住民の認識と満足度は、居住地域にかかわらず、ベースライン時に比べ最終評価時には統計的に有意に向上した。地区担当の CHW を知っているとは回答した 321 家族において、ベースライン時に比べ最終評価時には「強い薬を投与する」「注射を行う」ことを CHW に期待すると回答した者の割合が減少し ($P<0.001$)、「病人を病院へ連れていく」ことを期待する者の割合が増加した ($P=0.031$)。実際に CHW の訪問を受けたことがあると回答した 314 家族における満足度の比較では、「CHW の家庭訪問は役に立っているか」を含む 4 つすべての項目において、満足度は有意に向上した。

考 察

ブラッシュアップ研修前後で、CHW 活動への住民の認識が改善され、住民の CHW に対する満足度が高まった。CHW に期待する役割や優先度の高い役割に関する住民の認識の改善・向上には、CHW の活動が適切に実施されたことも寄与していると考えられる。ブラジル国アマゾナス州のような医療資源の乏しい地域においても、研修やスーパービジョンを通じて継続的に CHW を支援することにより、CHW 活動の質を担保し、サービスを受ける住民の満足度が向上することが示された。